

■昭和薬科大学附属高等学校・中学校■



yakka

やっか かわらばん

瓦版

本校入試に関するお問い合わせ

〒901-2112 浦添市沢岬450

TEL.098-870-1852

入試班

*この資料は『学校案内』の補助資料です

昭和薬科の「合格力」



国公立大医学部医学科 合格者ランキング

順位	学校名（都道府県）	卒業生数	合格者数
1	東海（愛知）	388	106
2	久留米大附設（福岡）	195	72
3	洛南（京都）	413	70
4	西大和学園（奈良）	360	68
5	開成（東京）	412	67
	愛光（愛媛）	244	67
7	ラ・サール（鹿児島）	191	60
8	熊本（熊本）	391	55
9	桜蔭（東京）	218	53
10	滝（愛知）	342	47
	甲陽学院（兵庫）	200	47
12	札幌南（北海道）	306	45
	海城（東京）	313	45
14	四天王寺（大阪）	472	44
	旭丘（愛知）	387	43
15	東大寺学園（奈良）	203	43
17	灘（兵庫）	224	41
	青雲（長崎）	200	41
19	豊島岡女子学園（東京）	240	40
	洛星（京都）	210	40
21	新潟（新潟）	356	38
22	渋谷教育学園幕張（千葉）	352	35
	浜松北（静岡）	358	35
24	北嶺（北海道）	125	34
25	岡崎（愛知）	390	33
	南山（愛知）	383	33
	聖光学院（神奈川）	228	32
27	岐阜（岐阜）	355	32
	広島大附（広島）	191	32
30	高田（三重）	601	30
	仙台第二（宮城）	313	29
31	清風南海（大阪）	282	29
	広島学院（広島）	176	29
	鶴丸（鹿児島）	312	29
35	昭和薬科大附（沖縄）	214	28※
	※掲載時のもので現在の合格者は29名です。		
	金沢大附（石川）	120	28
35	智辯学園和歌山（和歌山）	238	28
	土佐（高知）	283	28
39	日比谷（東京）	313	27
	白陵（兵庫）	190	27

（AERA2026年4月20日増大より）

国公立大医学部医学科合格者数ランキング 全国35位（九州6位）

県内1位 医学部医学科45名合格！
北海道大2名(医医)、神戸大1名(医医)、広島大2名(医医)、琉球大12名(医医)

県内1位 旧帝大現役17名合格！
難関国立10大学26名合格！

県内1位 大学入試共通テスト平均701.6点
今年も県内トップ！（全国平均※文系596点、理系603点）

本校は、国公立大学医学部医学科への進学実績において全国でも屈指の実力を誇ります。週刊誌による医学部医学科ランキングでは、毎年のように上位に名を連ねており、「医学部に強い進学校」として全国的な評価を得ています。

さらに、東京大学や京都大学をはじめとする難関国立大学への合格実績も極めて高く、多くの生徒が第一志望を実現しています。大学入試の最初の関門である大学入学共通テストにおいても、毎年県内トップの平均点を記録しており、学力の高さが証明されています。

※全国平均は河合塾、駿台、ベネッセの3社で推定した1000点満点での平均点

国公立大学	合格者	（現役）
東京大学	5	（ 4 ）
京都大学	1	（ 1 ）
北海道大学	6	（ 3 ）
東北大学	1	（ 1 ）
一橋大学		（ ）
東京科学大学	2	（ 2 ）
名古屋大学	1	（ 1 ）
大阪大学	3	（ 3 ）
神戸大学	2	（ ）
九州大学	5	（ 4 ）
計	26	（ 19 ）
国公立大計	145	（ 101 ）

省庁大学校	合格者	（現役）
防衛医科大学校	1	（ ）

私立大学	合格者	（現役）
昭和薬科大学	5	（ 5 ）
慶應義塾大学	5	（ 3 ）
早稲田大学	12	（ 10 ）
上智大学	8	（ 6 ）
東京理科大学	19	（ 14 ）
学習院大学	2	（ 2 ）
明治大学	30	（ 17 ）
青山学院大学	6	（ 6 ）
立教大学	8	（ 5 ）
中央大学	19	（ 15 ）
法政大学	19	（ 15 ）
同志社大学	7	（ 7 ）
立命館大学	23	（ 17 ）
関西大学	4	（ 3 ）
関西学院大学	10	（ 6 ）
その他の私立大学	135	（ 84 ）
計	312	（ 215 ）

医学部への合格	合格者	（現役）
北海道大学	2	（ 1 ）
神戸大学	1	（ ）
広島大学	2	（ 2 ）
徳島大学	1	（ ）
佐賀大学	2	（ ）
長崎大学	4	（ 1 ）
熊本大学	1	（ ）
宮崎大学	1	（ ）
鹿児島大学	1	（ 1 ）
琉球大学	12	（ 5 ）
名古屋市立大学	1	（ 1 ）
大阪公立大学	1	（ 1 ）
国際医療福祉大学	2	（ 1 ）
福岡大学	4	（ 3 ）
その他の医学部医学科	9	（ 2 ）
計	44	（ 18 ）
※ 防衛医科大学校	1	（ ）

※令和8年4月13日時点

Interview

活躍する卒業生

すべての
子どもたちのために

安里 賀奈子

Kanakano Asato

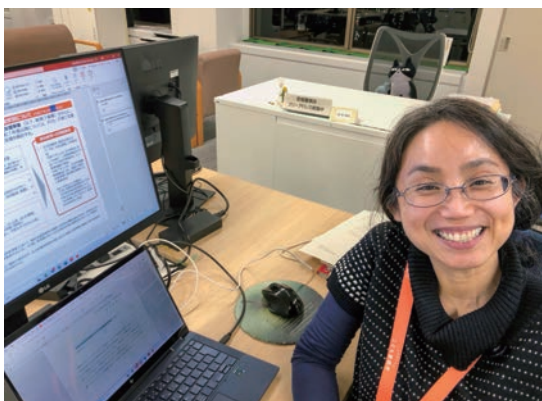
こども家庭庁 成育局 成育環境課長

略歴

平成12（2000）年厚生省（当時）入省。児童福祉、職業能力開発、がん対策、感染症対策、労働基準行政、年金事業管理、水道行政、多摩市健康まちづくり政策監、医療機関の勤務環境改善、医師の働き方改革、新型コロナウイルス感染症対策等を担当。厚生労働省大臣官房総務課広報室長、文部科学省男女共同参画共生社会学習・安全課長等を経て、令和6（2024）年7月より現職。高3の息子と中3・小6の娘の3人の子育て中。

■ 現在の活動内容

私の今の仕事は、こどもの育ちの環境を整えること、こどもの居場所を増やすことです。家庭がこどもたちの居場所となるよう、妊娠期からの伴走型の相談支援や、経済的支援、乳幼児期の親子が集う場づくり、地域での子育ての支えあいの推進とともに、児童館や放課後児童クラブなど、小学生以降の居場所も担当し、地域の中での多様な居場所づくりも推進しています。子育てに不安を抱える家庭には、家事を手伝いながら話を聞いてくれる人を派遣する事業や、親子関係を学ぶ講座、家庭に居場所のないお子さんに、家庭のリビング代わりのような居場所を提供する事業等も推進しています。これらの事業は市町村事業であり、民間団体に委託されることも多いので、地方自治体との連携や、民間団体とのネットワークが大事です。国としての方向性を様々な機会を通じて



職場の様子

発信するとともに、現場の方と対話し、様々な課題の解決に知恵を絞っていくのが私の仕事です。

今の私の主要な問題意識は、少子高齢化が進み、地域の支え手が少なくなる中で、こどもや子育て家庭のまわりのおとなたちをどう確保していくかです。また、中高校以上のこどもたちの居場所が少ないことも課題

だと思っています。人は様々な経験を経て成長しますが、どのような家庭・地域に生まれたこどもにも、家庭生活や学校生活、地域で暮らしていく中で、あたたかな声掛けや、信頼できる大人や友達・仲間との出会い、没頭できるものを見つけて夢中になったり、自分や取り巻く環境について自分で決めるという体験をすることが必要だと思っていて、すべてのこどもたちにそうした体験が届けられる社会を作っていきたいと思っています。



大阪・関西万博の居場所づくりイベントに参加

■ 昭和薬科大学附属高等学校・中学校での学生生活

私自身は、昭和薬科で様々な成長に繋がる体験をすることができました。友達がいいて、心を開いてお話しできる先生方がいて、やりたいことを試せる活動がありました。図書委員会、文芸部、詩吟部、式歌隊（卒業式で歌を歌いました）、少しだけかじったバレエ部。授業も楽しく、今でもいくつか思い出せます。入学時に、ここでの6年間を大学に行くまでの単なる通過点にしたいと思ったことを覚えています。願い通り充実した学生生活を送ることができました。東大法学部受験も挑戦してみたら？と先生からの声掛けがあって受験しました。塾には通いませでしたが、先生方のサポートのおかげで不安なくチャレンジでき、無事現役で合格することができました。当時、東大法学部には沖縄からの合格者が出たことがなかったので、薬科のためにも合格したい、という感覚でした（笑）。妹は、眠たがって勉強を翌日に回す私のことしか記憶にないらしく、「東大って誰でも受かるんだね」と言いますが、「挑戦しよう」と声を掛け、サポートしてくれる先生方がいたからこそ、合格できたと思っています。

■ 中学受験生へのエール

今の私を形作ったのは間違いなく、昭和薬科での6年間だと感じています。今の私の問題意識や活動する喜び、何かにチャレンジしてみようという意欲の根底には昭和薬科で過ごした日々があります。実は、私の中学受験は友達に誘われての記念受験でした。塾は下のクラスでダメ元で受けたのです。ギリギリの合格だったかもしれませんが、結果的にはその後の学生生活も含め大正解でした。だから皆さんもぜひ、興味があったらチャレンジしてみてください。挑戦してみないと結果は分かりません。応援しています。

中学入試Q&A

※試験日程などについては学校案内の『入学試験募集要項』をご覧ください。

受験について教えてください。

Q1

A

筆記試験のみで、受験生や保護者の面接試験はありません。また、推薦入試制度は設けていません。ただし、本校は附属高校に連結した完全中高一貫教育校であり、受験資格を「入学後は昭和薬科大学附属高等学校へ進学し、将来大学進学を希望する者」としています。“中学だけは本校に在学、高校は他校へ”という考えは、本校の趣旨に合っていないです。中高を通して、同じ目標を持った仲間と、サポート体制の整った学習環境で頑張ってください。

薬科の学習面での特色は何ですか？

Q2

A

中学校の段階から大学受験を見据えて、「ムリ・ムダ」をなくした効率的な指導を行っています。高校3年時には余裕をもって受験に臨めるような演習中心の授業を行っており、それが高い合格実績につながっています。全ての教師において中学と高校の区別がなく、6年間をひとまとまりとした指導が実践されています。

授業についていけるか心配です。

Q3

A

受験に合格出来たということは、「まじめに努力すれば薬科の授業についていく力がある」ことを意味しています。授業をしっかり受け、家庭学習を習慣化すれば何も心配ありません。知的好奇心を揺さぶる授業が展開され、同じ目標を持った仲間がいるから、きっと頑張れます。

学級編成や講座について教えてください。

Q4

A

中学校から高校1年までは能力別学級編成（習熟度別編成）は行わず、高校2・3年生では一部教科でレベル別や志望校別にクラス編成をしています。課外講座は、学期中の早朝や放課後、長期休暇中に実施しています。内容は生徒の理解度に合わせた「基礎強化講座」や「希望制講座」などがあります。

部活動は自由参加ですか？

Q5

A

中学入学後は自由に部活動へ参加することができます。活動は放課後の時間が中心です。自分が興味関心を持ち、継続的に参加できる部活を選び、楽しんでください。また、勉強との両立はとても重要です。スケジュールを管理し、無理のない活動を心掛けてください。

昼食について教えてください。

Q6

A

中学生は給食があります。また、高校生はキッチンカーなどによる昼食販売を利用でき、中学生も給食後には利用可能です。さらに、飲み物やアイスクリームなどの自動販売機も設置しています。